

## ①学習課題（小学校 6 年生）



**【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。**

### <学習内容>

◆「帰り道（教科書 17～33 ページ）」に取り組めます。登場人物「律」と「周也」がどのような人物か、視点のちがいに着目してノートや取組シートにまとめます。

※30 ページ下の段に人物像をとらえる手がかりがくわしく書かれています。

#### ①「律」と「周也」、それぞれが思う自分自身の人物像

→「律」は①18～24 ページから、「周也」は②25～29 ページから、自分のことをどのような人物だと思っているか、分かる言葉や文を探して線を引きます。

→線を引いた部分から、それぞれの人物像につながりそうな言葉を取組シートに書き出します。書き出した言葉をつなげて人物像として一文でまとめます。

（例）律は、 人

※一文で書いた後、そう考えた理由もノートや取組シートに書きます。

#### ②『律』から見た『周也』、『周也』から見た『律』の人物像

→①とは逆に、「律」の視点①から見た「周也」、「周也」の視点②から見た「律」の人物像が分かる言葉や文を探して考え、ノートや取組シートにまとめます。

（例）律は、周也を 人だと思っている。

※学校が始まったら、①、②でノートや取組シートにまとめたことを先生に見てもらったり友達と伝え合ったりします。

◆「漢字の形と音・意味」で学習する予定の新出漢字をノートに練習します。298 ページにある読み方や書き順を確かめながら、練習しましょう。

### <保護者による関わり方のポイント>

- ・1 場面からは、「律」と「周也」が考える「自分自身の人物像」と「周也の人物像」が捉えられます。それぞれの視点から考えた人物像を比べ、『律自身が考える「律』』と、『周也』が考える「律』』は、同じかな。」などとお子さんに尋ねることで、視点によって人物像が変わることを捉えやすくなります。
- ・お子さんが学習した内容を後から確認する場合、取組シートやノートから一文でまとめた人物像や理由を読み、感想を伝えてあげてください。